

保存系歯科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、掲示などにより情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 進行した分岐部病変の予後調査

[研究機関] 北海道大学病院保存系歯科

[研究責任者] 菅谷 勉 （歯学研究科口腔健康科学講座 歯周・歯内療法学教室・准教授）

[研究の目的]

本研究は、分岐部病変の臨床診査結果、エックス線写真所見および治療法と、臨床成績との関連性を調べ、治療法の確立に役立てることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科受診の患者さんで、平成2年4月1日から平成26年9月30日の間に分岐部病変の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、臨床診査結果（被験歯名、歯周ポケットの深さ、分岐部病変の分類）、エックス線写真検査（骨欠損の位置と大きさ）、治療内容（スケーリング、ルートプレーニングの器具、フラップ手術の有無、歯根分離、歯根分割抜去、トンネル形成）、術後の臨床診査結果（経過日数、歯周ポケットの深さ、分岐部病変の分類）、術後のエックス線写真検査（骨欠損の位置と大きさ）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北15条西5丁目

北海道大学病院保存系歯科 担当医師 菅谷 勉

電話 011-706-4343 FAX 011-706-4334